

新型コロナウイルスの予防接種を受ける方へ【説明書 (B 類疾病予防接種)】

新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスに感染することによって起こります。主に発熱、のどの痛み、咳などのかぜによく似た症状が現れます。軽症の方も多いますが、基礎疾患のある方や高齢者は、重症化しやすく、死亡率も高くなっています。発症や重症化を予防するために予防接種を受けることが有効とされています。

**定期予防接種は
期間中1回のみです。**
誤って2回目を接種した場合は
全額自己負担となりますので
お気をつけください。



予防接種の効果と副反応・接種間隔について

【効果】予防接種を受けることで、発症の予防や入院などの重症化の予防に効果があることが確認されています。また、すでに感染した方も、追加の発症予防効果が得られることや、重症化予防効果は発症予防効果より高いことも確認されています。

【副反応】接種後、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等がみられることがあります。

【重大な副反応】アナフィラキシーが報告されており、ほとんどは接種後 30 分以内に生じます。そのため、接種後 30 分はその場で健康観察をすること並びに接種後数日の間に胸痛、動悸、息切れ、むくみなどの症状があった場合は、医療機関の受診が必要です。

【接種間隔】新型コロナウイルス予防接種と他の予防接種とは、接種間隔の制限はありません。また、医師が必要と認めた場合は、他の予防接種と同時接種することができます。

予防接種を受けることができない方（接種不適当者）

1. 明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
2. 重篤な急性疾患にかかっている方
3. 予防接種の接種液の成分に対しアナフィラキシーなどの重度過敏症の既往歴のある方
4. その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

予防接種を受ける際に注意を要する場合（接種要注意者）

以下に該当すると思われる方は、かかりつけ医に相談し、予防接種を受けてよいかどうか判断してもらいましょう。

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方
2. 予防接種後 2 日以内に発熱が見られた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
3. 過去にけいれん（ひきつけ）の既往がある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方、及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
5. 接種する接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
6. 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害を有する方

予防接種を受けた後の注意

1. 予防接種の後、まれにショックやじんましんなどの副反応が起こることがあります。（接種後 30 分以内）医師とすぐに連絡が取れるようにしましょう。24時間は体調に注意しましょう。
2. 予防接種当日の入浴は差し控えありません。注射した所を強くこすることはやめましょう。
3. 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動を避けましょう。

※非常にまれですが、予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定した時は、市町村により給付が行われます。久留米市保健所保健予防課までご相談ください。また、請求には期限がありますのでご注意ください。

【問い合わせ先】
久留米市保健所 保健予防課 電話：0942-30-9730 FAX：0942-30-9833

ホームページ
はこちら→

